

癖になるのはこわい。

終電の行った駅のホームに蹲りながらつくづく考える。

(止められなくなってしまうから。)

わたしはゆっくりり体を返すと、鉄鋼で覆われた屋根の隙間から見える夜空の端っこをしばらく眺めた。体をまっすぐに伸ばして空を見つめる。人通りはまったくない。ホームに寝転んでいたら、酔っ払いとしか思われぬ。

(だから大丈夫。)

仕事が忙しく、終電で帰ることが日常になっている。ある日電車を降りたと同時に倒れこんだ日から、訳もなくホームに寝転ぶことが癖になっている。

小さな振動が起こり、電車の音が近づいてくる。対向車線を貨物列車が通り過ぎる時、風がホームを切り裂いていく。まっすぐに上を見ながら、私は風の音を聞いている。帰る場所はあるのに、帰れないのはなぜだろう。

横たえた体の重みを感じながら、わたしは少し自由でいる。だから、癖になるのはこわいのだ。

こめんって謝るのだったただの言葉吸い込んで、空



正しさ

できればその正しさを共有したいと思ってはいるんだけど。

正しさを窓辺に飾る雨の日に雨が降るってへーらしいの正しさ

